

TOPICS

- 第44期事業発展計画発表会
- お客様紹介：日産プリンス鳥取販売(株)鳥取本社
- 燃焼実験報告
- 今月のプレゼント：鳥根県産アムスメロン

## 第44期事業発展計画発表会の開催 基本方針

# 「会社の理念を自分のものにする」



写真左より、社長賞受賞の野々村、榎並、宮北、松本、大國、清水社員

6月12日、第44期事業発展計画発表会が開催され、第43期に、会社の発展のために尽力してくれた社員が表彰されました。表彰された社員はもとより、他の社員も部署ごとに一致団結し、それぞれの目標を達成し、素晴らしい成果が出ました。

受賞者を紹介します。

**清水社員**：昨年11月から計画的にコツコツと資材、倉庫整理を実行しました。どこに何を置けばスムーズに資機材準備ができるか、また次に使用する資機材の事も考えて管理表も作成しました。資機材準備の時間短縮につながっただけでなく、いつでもキレイな状態を保つ動機付けを他の社員へも与えています。

**野々村社員**：日々の売上目標を強く意識し、年間目標を10か月で達成した。また効率の良い回収スケジュール計画をたて、お客様活動ができました。

**松本社員、宮北社員**：主要メンバーが退職後、その影響は主に松本社員と宮北社員に掛かっていましたが、両名はそれぞれの主要地区である米子と鳥取の顧客数を増やし、収集量も対前年で米子(+28.58KL)、鳥取(+24.78KL)増やし、人が不足している部分を良くカバーしてくれました。

**大國リーダー**：13プロジェクトの8つのプログラムを管理することにより、競合他社にお客さまを奪われることなく43期の目標を上回る成績を上げることができました。収集担当者に適切な目標設定を行い、担当者全員が目標達成できました。

**榎並課長**：3名だった現場責任者が2名になった状況で、緻密な施工計画を立てて効率よく人員配置してリピート顧客の施工を期限内に実施しました。43期の目標を上回る売上を達成しさらに、一人一人の能力を広げました。

(3ページに続く)

## お客様紹介

### 日産プリンス鳥取販売株式会社 鳥取本社店 様

〒680-0911

鳥取県鳥取市千代水4丁目7番地

TEL 0857-28-6111

FAX 0857-28-4424

今年1月に、鳥取支店と鳥取千代水支店が統合され、鳥取本社店となり、巨大な店舗ができました。45名のスタッフを率いる杉本店長にお話を伺いました。

#### 自慢のショールーム

明るく開放的で、広々としたショールームが自慢です。ショールーム全体を白を基調とし、床面は木目の床材でナチュラルな雰囲気を醸し出しています。毎朝、スタッフ総出で清掃し清潔感を保ち、お客様をお迎えしています。道路側の壁面は全面ガラス張り、外光がさんさんと入り込み、とても明るく、まぶしいくらいです。来店型店舗をめざし、営業部員の数だけ商談用のテーブルがあります。週末には1日150組から200組の来店があり、大盛況です。

当店の特徴として、キッズコーナーをショールームの真ん中に設置しています。ショールームのどこからでもお子様の姿を見ることができ、スタッフもお子様の様子を確認することができます。ご家族からは、安心して商談できると好評をいただいています。子供たちもお父さんお母さんの姿が見えるので、安心して遊べます。

また、ショールーム内には、お勧めの車を1台展示し、1週間ごとに入れ替えをしています。

ショールーム奥には、ラウンジコーナーがあり、マッサージ機を置いています。ウィークデーには年配のお客様が多く来店され、ゆっくりくつろいでいただいています。お客様からは、明るくきれいで、ゆっくり過ごすことができると喜んでいただいています。



ショールーム中央のキッズコーナーの様子



店舗全景。大きなキャノピーで雨・風を防ぎます。

また、当店は、大型キャノピーが特徴的です。店頭での納車式やお客様のお迎えや見送りの際、雨・風を防ぎ、全天候に対応できる優れたものです。道路からの出入り口も広々としていて、出入りがしやすくなったとお客様からも好評をいただいています。玄関には、七夕にちなんで、笹に願いごとがかかれた短冊が付けられ、季節感が感じられるディスプレイが印象的です。

#### はっぴいぎゃらりい

地域の皆様に気軽に来店していただけるよう、地域密着型の店舗づくりに取り組んでいます。その一環として、現在、子供たちの絵画展を開催中です。幼稚園児たちの将来の夢を描いた、傑作ばかりです。広い店内にたくさんの絵画が展示され、お客様に足を運んでいただくきっかけとなり、にぎやかさを増しています。

#### 女性の活躍

現在、日産自動車では各店舗に女性のカーライフアドバイザーを置き、女性の視点で目配り気配りをし、お客様満足度アップに貢献しています。当店でも店頭で3名、営業に1名のカーライフアドバイザーを置き、大きな戦力となっています。お客様には行き届いたサービスの提供で、漏れのない対応をし、リピートのお客様を増やしていきます。

8月には、新型セレナが発売予定で、お客様の注目を集めると確信できます。お客様第一主義をモットーに、リピート率が高い店づくりをし、お客様の信頼を高めたいということです。地域に根付き、地域に貢献できるように、社員一致団結し、取り組んでいきたいと、言葉を頂きました。(聞き手長野)



笑顔が素敵な村山様と八田様  
(写真左より)



お話を伺った杉本店長。

## 第44期の目標を達成するために

今期第44期の基本方針は、「会社の理念を自分のものにする」です。

具体的には、

- ・お客様のご繁栄に繋がるサービスを提供することで、地域社会に貢献し、なくてはならない存在になる。
- ・一人一人が高い目標を持ち、人として成長し、周囲から信頼される関係を築いていく。
- ・この美しいふるさとを守るために、山陰地方と会社が元気になるように明るく積極的に行動していく。

社員皆が会社の理念を理解し、積極的に行動することで、周りからお客様から素晴らしいと言われる社員と会社になります。

社長賞を受賞した社員の喜びのコメントを紹介します。（表紙参照）

### 清水社員

「今後も整理整頓に努め、きれいな状態を維持していく。」

### 野々村社員

「今期も売上の上方修正が継続できるよう張っていく。」

### 宮北社員

「鳥取地区の収集量を伸ばしていく。」

### 松本社員

「地域に愛される収集マンになる。」

### 大國リーダー

「チーム全員が頑張った成果だ。今期も目標を上回る数字を出していく。」

### 榎並課長

「部員全員がいただいた賞だと思う。今期も皆で協力し合って目標を達成していく。」



## 【決意表明】

社員を代表して、メンテナンス事業部清水社員が決意表明を行いました。

我々は、この決意を強く意識し積極的に行動することで、今期の計画を着実に実行し、目標を達成していきます。

写真左より、清水社員、山根社長。

## 【永年勤続表彰】

長年に渡り当社業務に精励し、実績を残してくれました。さらに今後の活躍を期待します。

### 35年勤続表彰の石橋社員

「これからも皆さんと一緒に働いて、会社のお役に立ちたい」

### 30年勤続表彰の河上部長

「過去に、一般廃棄物処理プラントへ出向して勉強し、よい経験をさせてもらった。これからも経験を積んでいく」

### 15年勤続表彰の松下部長

「自分自身が精進し、会社に貢献していきたい」



写真右より、35年勤続表彰の石橋社員、30年勤続表彰の河上部長、15年勤続表彰の松下部長。

## 安全教育を徹底する

周りからお客様から素晴らしいと言われる人と会社になる

常務取締役 安原幸治

6月18日、A社員が、フラン樹脂タンクの清掃業務を終え帰社する途中に急に気分が悪くなったため、病院へ行って治療を受けました。結果4日間の入院治療を経て退院することが出来ましたが、有害物を取り扱う仕事は一つ間違えば命に関わる危険な業務です。

原因についてはまだ断定はできませんが、今回の事故は、危険物を取り扱うために必要な安全教育を充分行わなかった会社の責任です。このような危険な現場での業務に対して、常に社員の安全を考えて注意を払わなければならない立場の私自身が「今まで出来たのだから大丈夫だろう」という慣れから慢心していました。

安全に作業できることはあたり前のことで

あると考えていたのです。

安全を維持することは、決してあたり前のことではなく、あたり前のこと続けることは現場だけでできることではありません。

このような事故を二度と起こしてはいけません。社員の皆さんが安全に作業するために必要な技術や知識を習得できるように社内の安全教育や外部での研修等を活用します。私自身も率先して参加して勉強します。

まずは7月31日までに全ての部門の各現場で危険なところがないか洗い出して、その結果をまとめて皆さんに報告します。そして一つずつ対策を立てて計画的に改善して社員の皆さんと一緒に安全な作業環境をつくりま

### 私はこう考え、こう実行します

- 【松下】工程管理と安全第一を優先し、工事を完了させる。
- 【河上】安全の基本の講習を行う。
- 【榎並】今までの慣例にとらわれず物事にとりくみます。
- 【木村】KYをしながら行動する。
- 【山口】安全優先で作業します。
- 【大國】あたり前をもう一度見直す。
- 【木村憲】安全作業をする。
- 【松本】安全な作業を心がけます。
- 【岸本】各作業で危険を予知し、安全に作業する。
- 【高橋】安全講習で習ったことを実践し、自己安全管理をします。
- 【長谷川】安全を第一に考え作業します。
- 【植尾】慣れた作業をもう一度見直し、危険を考える。

- 【吾郷】「安全」を常に考え、行動します。
- 【恩村】安全講習に必ず参加します。
- 【清水】危険のポイントを現場で皆と話し合い安全に作業ができるようにします。
- 【藤原拓】安全に、確実に作業をします。
- 【藤原大】安全に作業を行います。
- 【松浦】安全講習に参加して知識を習得します。
- 【野々村】安全に対する意識をもう一度高めて業務に努めます。
- 【宮北】安全な場所での安全作業を心がける。
- 【石川】安全作業に対しての意識を改めて持ち作業を行います。
- 【祝部】覚えた作業を手順の確認を行って事故のないようにする。

- 【福島】指差呼称で再確認。
- 【石橋】常に作業の前に周りの安全を確認してから作業を開始します。
- 【中村】現場にて、整理・整頓・清潔・清掃・安全(KY)を徹底し、安全作業ができるように常にチェックして作業を行います。
- 【足立】私はまず、体調・安全など自己管理を徹底します。
- 【鎌田】初心にかえる。
- 【藤田】体調管理をしっかりと行い、安全を考えます。
- 【加藤】「決められたことは絶対に守る」「やってはならないことはやらない」「あたり前のことをあたり前にやる」取り組んで事故防止につなげる。
- 【長野】初心に戻り、一つ一つ丁寧な作業を行う。

**燃焼実験報告**・・・(株)太陽での燃焼試験の機会を得ましたので、報告します。

燃焼について、再生油等の燃焼状態を確認でき、貴重な体験でした。再生油と原料とでは炎の大きさや安定性、噴射口の過熱状態に大きな違いがあることが確認でき、当社の再生油の品質の良さを実感できました。低コストの生産方法も検討すべきと感じました。また、(株)太陽の社員の方々の真摯な対応や自社に対する誇りを感じ、私たちも見なわなければならないと思います。(大國)

今回の(株)太陽訪問の目的は、専門家に見てもらうことで、技術的に問題がないかを確認するためでした。専門家から「無加温での燃焼については問題がないが、圧縮空気の量が多いので、加温とうまく組み合わせれば、効率よく燃焼できるのではないか」との意見を頂きました。

私としては、このバーナーは失火が極端に少ないと考えられるので、是非、可能性を探って、ハウス加温機での実証をさせたいと思っています。

今回は収集担当の大國リーダーも同行してもらいましたが、燃やすものによって炎の色や長さの違いを目で確認してもらいました。今後の原料収集に役立てばと思います。(木村憲)

「五体不満足」を読んで  
乙武洋匡著



私がこの本を初めて読んだのは、小学生の時に、手足がなく生活するのが大変だという思いしかありませんでした。しかし、自分が中学・高校と何度も読んでいくうち、乙武さんは、自分の障害を不幸とは考えず、不便であるといい、多くの事に挑戦していく姿に感動しました。

乙武さんは、小学生の時は野球や縄跳び・水泳など、中学生のときはバスケットボール部に所属し、手足に障害を持っているとは思えないほど活動されています。

これは、乙武さんの障害に負けないという気持ちと多くの人とのつながりがあったことだと思います。

この本を読んで、私は五体満足に生まれたことに感謝し、そして、少しでも自分の周りの人に手助けができる人になりたいと思います。

(祝部)

「トヨタの安全への取り組み」を聴講して

障害物や人間を察知して衝突を回避する「自動ブレーキ機能」が車の安全装備として脚光を浴びています。自動車メーカーがこぞって開発にしのぎを削り、TVCMで見ると、かなり信頼性が高いものであるように感じます。車がこんなにも多くなってきた現代社会では、交通事故ゼロは永遠の課題であり、それに向けての活動を各自動車メーカーは行っています。

トヨタ自動車の安全への取り組みは、次の通りです。人・車・交通環境の三位一体の取り組みである。実安全の追求が車づくりのベースになっている。

交通事故の調査・解析を綿密に行って、それを車づくりに生かしています。実際、交通事故での死亡者は、2003年から減少が鈍化しており、2015年はわずかに増加しているということです。歩行者の死亡事故を減らしていかなければなりません。

また、各自動車メーカーは、すべてのひとが安全、スムーズ、自由に移動できる社会を目指して「自動運転技術」の開発を目指しています。トヨタ独自の考え方は、「クルマを操る楽しさと自動運転を両立させ、人とクルマが同じ目的をめざし、ある時は見守り、ある時は助け合う、気持ちが通った関係を構築する」というものです。

人とクルマがどこまで協調できるのか、近い将来に実現する予感がします。交通事故を限りなく減らしていくことを目指していかなければならないと思います。(長野)

## 成功への実践

尾身幸次 著



「人間は何のために生まれてきたかを考える」

進化と向上を目指すことが、人間に与えられた使命である。

世の中の進化と向上のためにプラスになることを目指せば、そのプロセス自体が自分にとってプラスになり、人として幸せになれる。

高い志をもって、人のために役立つ仕事をする  
ことが自分にとっても成長の糧になると説いています。  
(長野)



「ザクロの花」  
実は食べられますが、種がいつぱいです。アジアでは昔から、子孫繁栄・豊穡のシンボルだったようです。

## 社長が薦める今の一冊

### 観光立国革命

日本人のアイデンティティを  
取り戻す最大の機会  
中村好明著



カナリアコミュニケーションズ刊

私は学校卒業後、外資系のホテルに勤務し、世界中からのお客さまと接することができました。そこで教えられたことの一つ。異国の人は、「まず違うことを知ってつきあう。しかし心の内は、皆同じであること」を学びました。学んだことによって、話す言葉、肌の色、体格などの違いがあっても、さらにはとてつもないお金持ちの人とも、気軽に接することができました。

今外国から観光客にたくさん来てもらうことによって、外貨を稼ぎ、国や県を経済的に豊かにする目的で、観光立国が叫ばれています。この本はその上に立って、「観光を再定義しよう」というテーマで書かれています。「観光の概念を、レジャー中心の旅行業だけにとどめてはいけません。真の意味は、日本各地固有の人々の文化・歴史・伝統、そして暮らしの固有性を磨く(p-33)」ことにあると定義しています。

私達この地方に住む一人一人が、外国から観光に来た人達と「まず違うことを知り、その奥にあるものは皆同じである」との気持ちで、気軽に話し、接する。

やがてお互いの理解が進み、この地方の良さを、その人たちと共有して楽しむことができる。そしてその人たちから、もう一度来たいと言ってもらえるところまで親しくなりたい。(山根)

## 今月のクイズ

解答を下記編集部までお寄せ下さい。応募の方法は、ファックス、電子メール、ハガキ、営業マンに渡していただいても結構です。正解者の中から抽選で2名様に島根県産アムスメロンを差し上げます。クイズの締切は7月末です。奮ってご応募下さい。

Q：ビートルズが来日して50年になりますが、初来日して初コンサートはどこで行われたのでしょうか？施設名で教えてください。



西伯郡鋪倉様、境港市永見様が  
当選です。おめでとうございます。

## 応募用紙(答)

会社名または住所、氏名

FAX 0852-37-2472 E-mail h.nagano@e-skk.co.jp

## 新着状況

・観光立国革命“インバウンド3.0の衝撃！  
持続可能なニッポン創生のための処方箋”

中村好明 カナリアコミュニケーションズ  
外国人観光客を全国各地で見えるようになった昨今  
彼らが求めるのは、昔ながらの日本です。

・環境ビジネス 2016年 夏号

株式会社日本ビジネス出版



発行日：毎月10日

発行：690-0025 島根県松江市八幡町796-20

TEL 0852-37-2470 FAX 0852-37-2472

山陰興業(株) ECO'S通信編集部長 長野

E-mail :h.nagano@e-skk.co.jp

印刷：授産センターよつば 印刷係

ホームページ (<http://www.e-skk.co.jp>)

## 編集後記

ビートルズが来日して50周年ということで各メディアが取り上げています。50年前の6月29日、機内サービスの法被をきてタラップを降りる姿のTV映像をたびたび見かけます。法被を着ることで、私たちは親近感を感じ、彼らの親日感も感じ取ることができました。未だに人気は衰えることがなく、数々の名曲が歌い継がれています。その中でも、私が好きな曲は、「Let it be」です。この曲の歌詞は、聖母マリアが降りてきて、救いのことばをかけてくれる、「あるがままに」、といった内容ですが、このような内容の歌詞をポールが書いた理由は、ビートルズ解散にあります。ビートルズが解散する直前の1970年に発売され、最後のシングルとなりました。解散という危機的状況を目前にし、深く悩んでいるとき、どうすることもできず、もうお手上げ状態になって、この「Let it be」を書き上げたようです。

解散していなかったら、世界の音楽史は変わっていたかもしれません。(長野)

下記書籍を購入希望の方は、弊社までお知らせ下さい。在庫数が少ないため、出版局から取り寄せてお届けします。『成功への実践』(税込10,584)

『君に成功を贈る』(税込1,944円)

## 山陰興業蔵書本をお貸しします

本誌で紹介した蔵書本を、広く皆様にお貸しします。

営業マンや当編集部へ遠慮無くお申し付け下さいませ。